

圏央道の整備を重点的に進めます

## 平成19年度 関東地方整備局横浜国道事務所予算の概要

記者発表資料

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所が平成19年度に取り組む社会資本整備の実施方針をお知らせします。

### ポイント1

神奈川県内の道路ネットワークの整備を推進します。

◆圏央道（さがみ縦貫道路、高速横浜環状南線、横浜湘南道路）、厚木秦野道路の整備を重点的に進めます。

### ポイント2

既存道路ネットワークを生かします。

◆道路見える化計画を推進します。

### ポイント3

道路ストックを守ります。

◆更新時代への適切な対応を推進します。

平成19年4月25日

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所

### 発表記者クラブ

|          |            |
|----------|------------|
| 竹芝記者クラブ  | 横浜海事記者クラブ  |
| 神奈川建設記者会 | 神奈川県政記者クラブ |
| 川崎記者クラブ  |            |

### 問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所  
副所長 中須賀 聡（内線 205）  
計画課長 土肥 学（内線 301）  
電話 045-311-2981（代表）

## 平成19年度 横浜国道事務所事業実施の方針

### 1. 事業実施基本方針

平成19年度の横浜国道事務所における事業実施のポイントは次のとおりです。

#### ポイント1

##### 神奈川県内の道路ネットワークの整備を推進します

- ◆ 首都圏中央連絡自動車道  
(さがみ縦貫道路、高速横浜環状南線、横浜湘南道路)
- ◆ 厚木秦野道路

#### ポイント2

##### 既存道路ネットワークを生かします。(道路見える化計画)

【主な対策箇所】

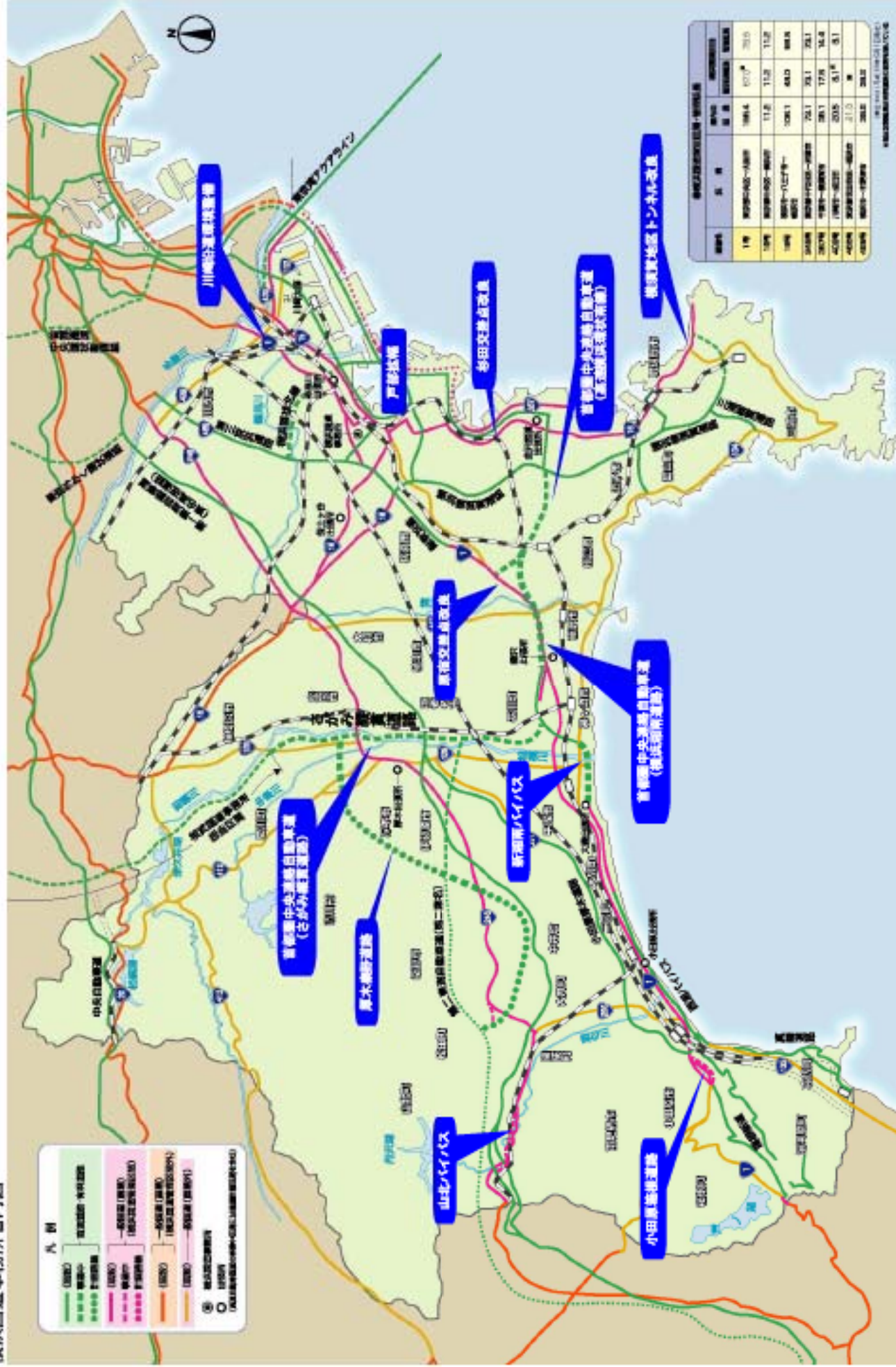
- 国道 1号 原宿交差点(横浜市戸塚区)
- 国道16号 横須賀地区トンネル改修(横須賀市) ほか

#### ポイント3

##### 更新時代への適切な対応を行い、道路ストックを守ります

- ◆ 更新時代への対応
- ◆ 維持管理コストの縮減

國內省所轄專道團災機構





## 2. 主要事業・施策の概要

### 神奈川県内の道路ネットワーク整備の推進

- ◆ 首都圏中央連絡自動車道の整備促進
- ◆ 厚木秦野道路

#### 1) 首都圏中央連絡自動車道の整備促進（3環状道路の整備）

首都圏では今後次々と環状道路が開通し、交通の流れが変わってきます。「3環状道路」が整備されれば都心を通るだけのクルマが環状道路を利用するようになり、都心の渋滞解消が期待されます。

##### 【事業区間】

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道

（さがみ縦貫道路、高速横浜環状南線、横浜湘南道路）



#### ■事業の進捗状況



さがみ縦貫道路（相模原IC付近）

①



さがみ縦貫道路（寒川南IC付近）

②



さがみ縦貫道路(上依知第二トンネル) ③



さがみ縦貫道路(西久保 JCT) ④



※ 未開通区間の IC、JCT は仮称です。

<海老名北 IC から相模原 IC> (平成22年度開通目標)

・調査及び設計、用地買収推進、工事推進をします。(用地取得率 94%)

上依知第1トンネル工事 (NATM L=652m) を推進

上依知第2トンネル工事 (開削 L=184m) を推進

相模原 IC 橋梁上・下部工事 を推進 ほか



＜海老名北 JCT から海老名北 IC＞ （平成 21 年度開通目標）

- ・調査及び設計、用地買収推進、工事推進をします。（用地取得率 96%）

〔中日本高速道路（株）担当区間〕

＜西久保 JCT から海老名北 JCT＞ （平成 22 年度開通目標）

- ・調査及び設計、用地買収推進、橋梁・改良工事推進をします。（用地取得率 93%）

宮山第 1 高架橋工事（14 径間連続鋼床版鋼箱桁 L=930m）を推進

宮山第 2 高架橋工事（4 径間連続鋼箱桁 L=199m）を推進

田端第 5 高架橋工事（4 径間連続鋼桁桁 L=200m）に着手

田端第 6 高架橋工事（6 径間連続鋼桁桁 L=185m）に着手 ほか

＜釜利谷 JCT から藤沢 IC＞ （平成 27 年度開通目標）

【横浜湘南道路】（用地取得率 28%）

- ・調査及び設計、用地買収推進、工事推進、立坑工事を推進します。

【高速横浜環状南線】（用地取得率 52%）

- ・調査及び設計、用地買収推進をします。

※ 用地取得率は平成 19 年 3 月末現在

### ■ 3 環状道路の整備の開通目標



※ 未開通区間の IC、JCT は仮称です。

## 【参考】

### 東アジアの主要都市圏の環状道路

東アジアの諸国では、道路や空港の社会資本整備が急速な経済成長を支えています。北京やソウルでは、環状道路は最大8車線で約9割が完成するなど、東京を追い越す整備水準となっています。



## 2) 厚木秦野道路

厚木秦野道路は、一般国道246号バイパスとして現道の交通混雑の解消を図るとともに、第一東海自動車道（東名高速道路）、第二東海自動車道、さがみ縦貫道路を相互に連絡し、県央・湘南地域の広域的ネットワークを形成するものです。

平成19年度は、伊勢原地区では調査設計及び用地買収を推進するとともに、厚木地区においては、調査設計及び工事を推進します。





## 既存ネットワークを活かす

### ◆ 渋滞や事故の改善（道路見える化計画）

渋滞に関するデータ等の分析や、交通事故データ等の分析による地域の交通・地域特性・地域の事故特性を「見える化」し、さらに道路利用者のご意見を踏まえつつ対策が必要な箇所を選定・公表し重点的に対策を実施していきます。

#### 【主な事業箇所】

国道1号 原宿交差点

国道16号 横須賀地区トンネル改修

#### 1) 原宿交差点

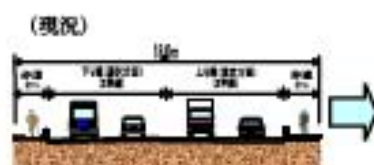
##### ■ 事業の概要

国道1号と環状4号（主要地方道原宿六浦線、一般県道阿久和鎌倉線）との交差点を立体化（国道1号を地下化）し、国道1号の通過交通と環状4号との出入り交通を分離することによって、交通渋滞を解消、横浜市の放射・環状道路の円滑な交通の確保、沿道の環境改善を図ります。



【標準断面図】

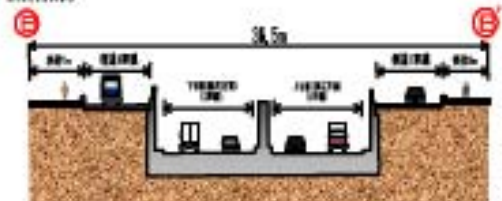
(将来：トンネル部)



(現況)



(将来：開削部)





## ■ 事業の予定

トンネル工事は平成19年夏頃より着手する予定です。早期に整備効果を発現させるため、渋滞のより激しい上り線を平成20年末頃に開通予定です。さらに、平成21年度に下り線の完成を予定しています。

### ■ 原宿交差点での渋滞の状況

国道1号原宿交差点は、その前後が横浜新道、新湘南バイパスといった自動車専用道路で整備されており、多様な交通（通過、内外、内々）が集中し渋滞しています。その状況は県内渋滞ワースト1で、その渋滞損失額は年間約100億円になります。

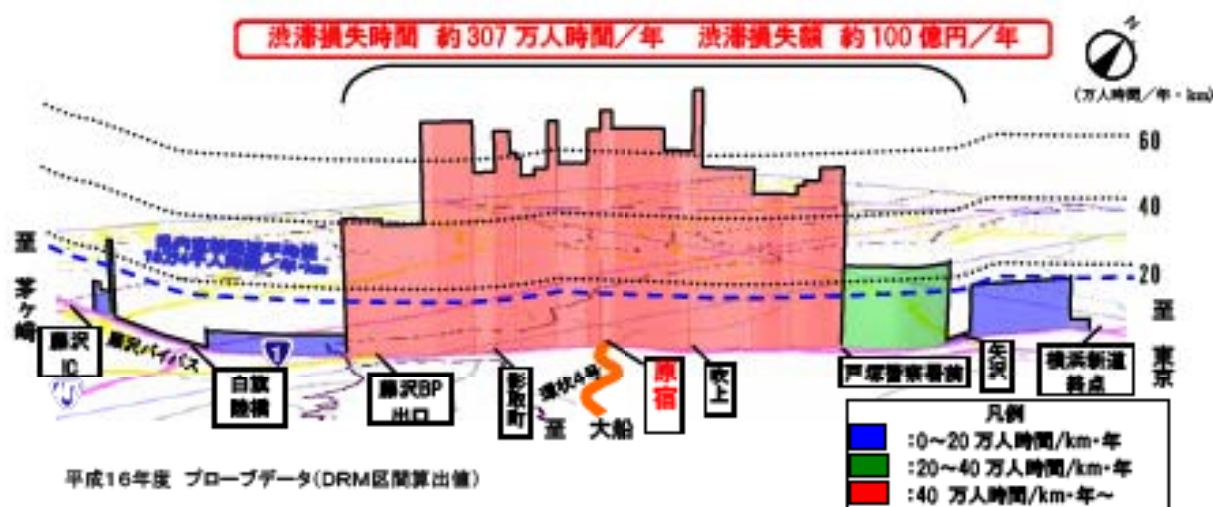


図 国道1号原宿交差点付近渋滞損失時間関図

朝のピーク時間帯は2分に1台の路線バスが原宿交差点を通過しています。



■バスの遅延時間（原宿バス等：東京方面）

| 戸建バスセンター行き       | 距離<br>(km) | 所要時間(分) |     | 時間比  |
|------------------|------------|---------|-----|------|
|                  |            | 運転時     | 乗車時 |      |
| 新瑞井バス停～<br>原バス停  | 2.3        | 30      | 6   | 5.0倍 |
| グリーンランド～<br>原バス停 | 1.7        | 16      | 6   | 2.7倍 |

\* 平成18年10月開業。通院時、平日8時～、夜間時、休日8～18時

参考：原宿バス停（戸塚バスセンター行き）

1. 運行回数:252便/日  
うちピーク時(7～8時):31便
2. 乗車数:1088人/日。降車数122人/日

# ■ 期待される効果

国道1号と交差する環状4号の交差点通過時間が減少し、幹線機能の向上が図られます。あわせて、大気環境の改善、騒音の軽減なども期待されています。





## 2) 横須賀地区トンネル改修

### ■ 事業の概要

横須賀市内の国道16号では狭いトンネルが連続して走行しにくい道路構造となっています。また、開通から40年以上を経過したトンネルが多数存在し、老朽化が進行しています。このようなトンネル群のうち、抜本的な対策の必要が高いトンネルを対象に、改修整備を行い、交通の安全性の確保や、交通の円滑化を図るものです。

平成19年度は引き続き調査・設計を進めていきます。



## 道路ストックを守る

- ◆更新時代への適切な対応
- ◆防災・震災対策

橋梁やトンネルなど、高齢化する道路ストックが増大することをふまえ、大規模な修繕が必要となる前に予防的な対策や長寿命化対策や、維持管理コストの低減など経済的な道路管理を実施していきます。

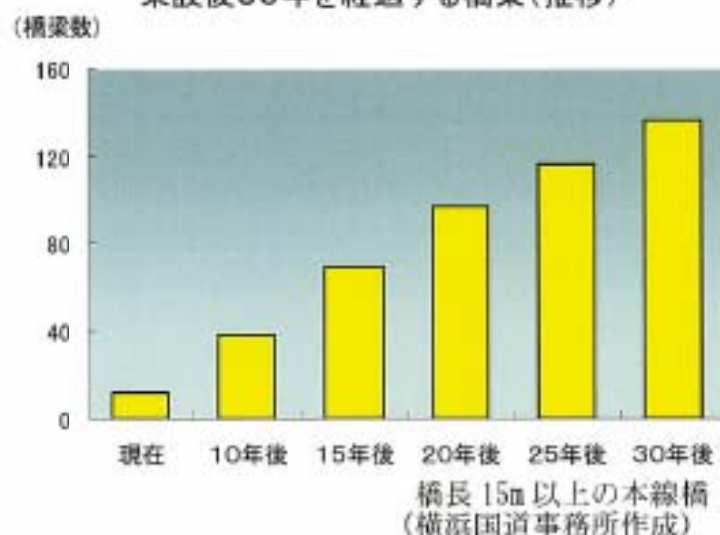
### ① 更新時代への対応

道路施設の安全を確保するため、橋梁やトンネルなどの保守を重点的に進めます。  
道路維持修繕における日常管理（清掃・剪定・除草）と舗装補修については、路線・地域特性を考慮し、コスト縮減を図りつつ効率的に実施します。

#### 1) 道路資産の保全

橋梁における三大損傷（疲労・塩害・アルカリ骨材反応）に対応し、予防補修対策を推進します。

架設後50年を経過する橋梁（推移）

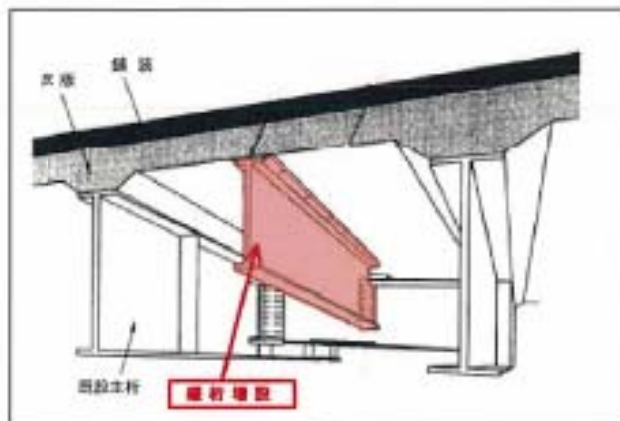


#### 【事業箇所】

国道16号 本村高架橋橋梁補修（横浜市旭区） 他9橋



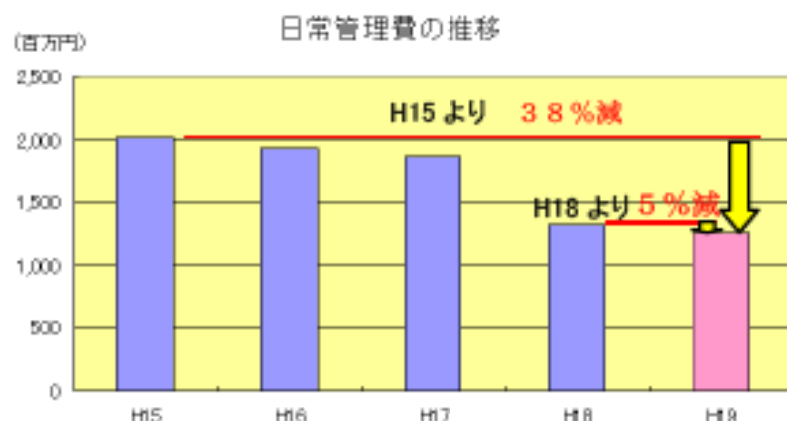
国道246号つつじ橋





## 2) 日常的な道路維持管理のコスト縮減（対前年比 5%減）

予算縮減の厳しい日常管理費では、沿道住民や道路利用者の理解を得られる管理水準を検討し、コスト縮減を図ります。



## ② 防災・震災対策

緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラムを重点的に実施し、直轄国道については全線を「優先確保ルート」とし、平成19年度までに耐震補強を概ね完了させます。

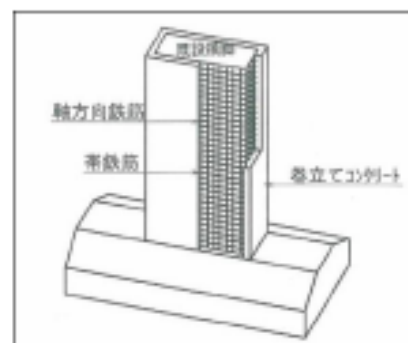
災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するため、防災・震災対策を重点的に進めます。

### 【事業箇所】

国道1号 ばにゅうばし 馬入橋（平塚市） 他6橋

## 1) 緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム

平成7年の兵庫県南部地震等で橋梁の被災実態を踏まえ、国と県・政令市等が連携を図りながら、平成19年度までに完了を目指します。



耐震補強対策の事例(巻立コンクリート)

## 良質な道路空間を形成する

- ◆ 無電柱化
- ◆ 共同溝整備

### ① 無電柱化（電線共同溝整備）

都市景観や防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保と地域再生等を図るため、「無電柱化推進計画（H16～20）」に基づき、電線共同溝整備を引き続き推進します。整備を進めるにあたりコスト縮減や、公益事業者との連携を図り整備を迅速化します。

#### 【事業区間】

国道１号 国府新宿電線共同溝

国道２４６号 石田電線共同溝

国道１６号 鶴ヶ峰電線共同溝

ほか

#### 無電柱化整備の事例（国道１６号 磯子地区）



整備前

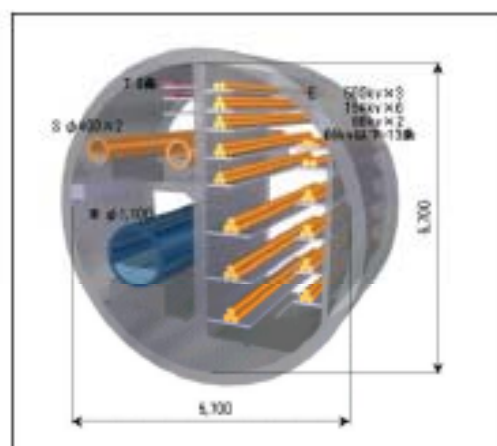


整備完了後



平成7年12月策定の「横浜・川崎地区共同溝整備基本計画協議会」において確定された「共同溝整備基本計画」に基づいて、道路に埋設されるライフラインをまとめて収容する共同溝の整備を引き続き推進します。

国道16号 保土ヶ谷共同溝  
 国道16号 保土ヶ谷・瀬谷共同溝  
 国道357号 金沢共同溝  
 国道357号 新杉田共同溝



断面图

### 3. その他の主要事業

#### 1) 道路ネットワークの整備

| 事業名等                  | 箇所名                  | 規模     | 19 年度事業内容               |
|-----------------------|----------------------|--------|-------------------------|
| 国道 1 号<br>新湘南バイパス（Ⅱ期） | 茅ヶ崎市下町屋から<br>中郡大磯町大磯 | 6.7km  | 調査・設計<br>用地買収推進<br>工事推進 |
| 国道 357 号<br>東京湾岸道路    | 横浜市鶴見区扇島から<br>横須賀市夏島 | 15.4km | 調査・設計                   |

#### 2) 既存ネットワークを活かす

| 事業名等                     | 箇所・地先名                  | 規模    | 19 年度事業内容        |
|--------------------------|-------------------------|-------|------------------|
| 国道 1 号<br>川崎 1 号環境整備     | 川崎市幸区小向仲野町<br>から川崎市幸区柳町 | 2.8km | 調査・設計<br>用地買収推進  |
| 国道 1 号<br>小田原箱根道路        | 小田原市風祭から<br>足柄下郡箱根町湯本   | 2.2km | 用地買収推進<br>工事推進   |
| 国道 1 号<br>戸部拡幅           | 横浜市西区戸部本町から<br>横浜市西区浜松町 | 0.7km | 用地買収推進<br>改良工事推進 |
| 国道 16 号<br>杉田交差点改良       | 横浜市金沢区富岡東から<br>横浜市磯子区杉田 | 0.5km | 用地買収推進<br>改良工事推進 |
| 国道 246 号<br>山北バイパス（向原地区） | 足柄上郡山北町向原               | 1.0km | 調査・設計<br>改良工事推進  |



### 3) 道路ストックを守る

| 事業名等                   | 箇所・地先名               | 規模    | 19 年度事業内容  |
|------------------------|----------------------|-------|------------|
| 国道 2 4 6 号<br>橋梁伸縮装置補修 | 今泉第二高架橋 他<br>海老名市上和泉 | 5 橋   | 橋梁伸縮装置補修   |
| 国道 1 号<br>既設共同溝改修      | 横浜駅前                 | 1.8km | 補修・補強      |
| 国道 3 5 7 号橋梁耐震補強       | 横浜ベイブリッジ             | 1 橋   | 橋梁耐震補強工事推進 |

### 4) 良質な道路空間を形成する

| 事業名等                                                | 箇所・地先名 | 規模  | 19 年度事業内容   |
|-----------------------------------------------------|--------|-----|-------------|
| 国道 2 4 6 号<br><small>あいこみやまえ</small><br>愛甲宮前横断歩道橋整備 | 厚木市愛甲  | 1 橋 | 横断歩道橋設置工事推進 |

#### 4. 予算総括表

平成19年度は交通円滑化、地域連携、共同溝、維持修繕、沿道環境改善、交通事故、電線共同溝等、総額544億円の予算により、道路整備等の推進を図ります。

(単位:百万円)

|                         | 前年度    | H19年度  | 伸び率  |
|-------------------------|--------|--------|------|
| 【費目別事業費】                |        |        |      |
| 交通円滑化事業費(改築)            | 33,390 | 28,492 | 85%  |
| 地域連携推進事業費(改築)           | 1,290  | 637    | 49%  |
| 沿道環境改善事業費(改築)           | 6,009  | 4,899  | 82%  |
| 沿道環境改善事業費               | 310    | 378    | 122% |
| 交通事故重点対策事業費             | 2,650  | 2,242  | 85%  |
| 交通安全施設等整備事業費            | 2,438  | 2,549  | 105% |
| 直轄道路維持修繕費               | 4,532  | 4,632  | 102% |
| 共同溝(交通円滑化事業費、地域連携推進事業費) | 6,799  | 1,916  | 28%  |
| 電線共同溝整備事業費              | 5,271  | 4,914  | 93%  |
| (合計)(A)                 | 62,689 | 50,659 | 81%  |
| 附帯工事費(B)                | 6,818  | 2,944  | 43%  |
| 受託工事費(C)                | 641    | 850    | 133% |
| (A) + (B) + (C)         | 70,148 | 54,453 | 78%  |

| 主な路線別事業費            |  | H19年度  |  |
|---------------------|--|--------|--|
| 首都圏中央連絡自動車道(国道468号) |  | 29,473 |  |
| さがみ縦貫道路             |  | 21,793 |  |
| 横浜湘南道路              |  | 4,080  |  |
| 高速横浜環状南線            |  | 3,600  |  |

※ 直轄道路維持修繕費には建設機械整備費含む

※ 道路事業調査費を除く

## 5. 参考

### 一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（金沢～戸塚）

こうそくよこはまかんじょうみなみせん  
(高速横浜環状南線)

#### 1. 概要

高速横浜環状南線は、「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県「かながわ交通計画」において、また、横浜市の「横浜市中期政策プラン」においても幹線道路として位置づけられています。

この道路は、横浜の都心部から半径約 10～15km に位置し、横浜市郊外各区の相互連絡を容易にし、市の一体化を図るとともに、横浜中心市街地の交通混雑の緩和を図ること等を目的に計画された「横浜環状道路」の一部をなす自動車専用道路です。

平成 7 年 4 月に都市計画決定され、以後、測量、調査、設計及び用地買収等を進め、平成 12 年 3 月から一部区間で工事に着手しています。

平成 19 年度は、引き続き調査設計を進めるとともに、用地買収等を推進していきます。

#### 2. 計画内容

所在地： よこはましかながわくかまりやちよう とつかくぐみざわちよう  
横浜市金沢区釜利谷町～戸塚区汲沢町  
(横浜横須賀道路～一般国道 1 号)

延長： 8.9 km

構造規格：自動車専用道路（第 1 種第 3 級、設計速度 80 km/h）





# 一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道

よこはましょうなんどうろ  
(横浜湘南道路)

## 1. 概 要

横浜湘南道路は、「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県「かながわ交通計画」において、また、横浜市の「横浜市中期政策プラン」においても幹線道路として位置付けられています。

既に事業化されている「さがみ縦貫道路」「高速横浜環状南線」や供用中の「新湘南バイパス」と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担を適正化し、国道 1 号等の交通混雑の緩和を目的に計画された道路です。

平成 12 年 7 月に都市計画決定され、以後、測量・調査・設計及び用地買収を進め、平成 17 年 6 月から一部区間で工事に着手し、平成 18 年 9 月より藤沢市域の区分地上権の手続きに入っています。

平成 19 年度は、引き続き調査設計を進めると共に、用地買収及び立坑工事を推進します。

## 2. 計画内容

所在地 : 横浜市栄区田谷町 よこはましをかえくたやちょう ～ 神奈川県藤沢市城南 かながわけんふじさわしじょうなん  
(高速横浜環状南線～新湘南バイパス)

延長 : 7.5km

構造規格 : 自動車専用道路 (第 1 種第 3 級、設計速度 80km/h)



# 一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（茅ヶ崎～厚木） （さがみ縦貫道路<sup>じゅうかんどうろ</sup>）

## 1. 概 要

さがみ縦貫道路は「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県「かながわ交通計画」において幹線道路として位置づけられています。

神奈川県内の道路は、県央部を南北に走る幹線道路等が不足しているため、特に主要幹線道路の国道 129 号、246 号の渋滞は著しく、そのため県道から生活道路に至るまで交通混雑が見られ、日常生活や地域の活性化に支障を及ぼしています。

この道路は県央部の体系的な道路ネットワークの整備を行い、道路交通の円滑化を図ることを目的として計画された自動車専用道路です。

平成 19 年度は、引き続き調査・設計、用地買収及び工事を推進します。

## 2. 計画内容

所在地： <sup>かながわけんちがさきしにしくぼ</sup> 神奈川県茅ヶ崎市西久保～<sup>かながわけんあつぎしかみえち</sup> 神奈川県厚木市上依知  
（新湘南バイパス～一般国道 129 号）

延長： 21.4km

構造規格：（仮称）西久保 JCT～（仮称）海老名北 JCT  
自動車専用道路（第 1 種第 3 級、80km/h）  
（仮称）海老名北 JCT～（仮称）相模原 IC  
自動車専用道路（第 1 種第 2 級、100km/h）



# 一般国道1号 おだわらはこねどうろ 小田原箱根道路

## 1. 概 要

小田原箱根道路は、国道1号のバイパスとして小田原市風祭から足柄下郡箱根町湯本間の交通混雑の解消を目的とした延長約2.2kmの4車線バイパス道路です。

平成8年度より工事に着手し、平成17年3月28日に2車線（山崎 IC の立体化を除く）で一部開通しました。

平成19年度は用地残件6件について早期の取得を図り、全線完成開通を目指します。

## 2. 計画内容

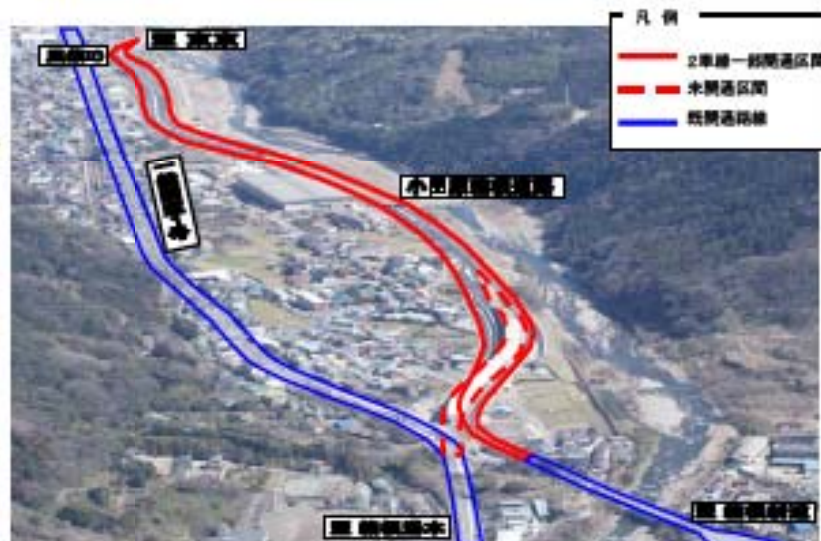
所在地：かながわけん おだわらし かごまつり 神奈川県小田原市風祭～かながわけん あしがらしも ぐんはこねまち 湯もと 神奈川県足柄下郡箱根町湯本

延長：2.2km

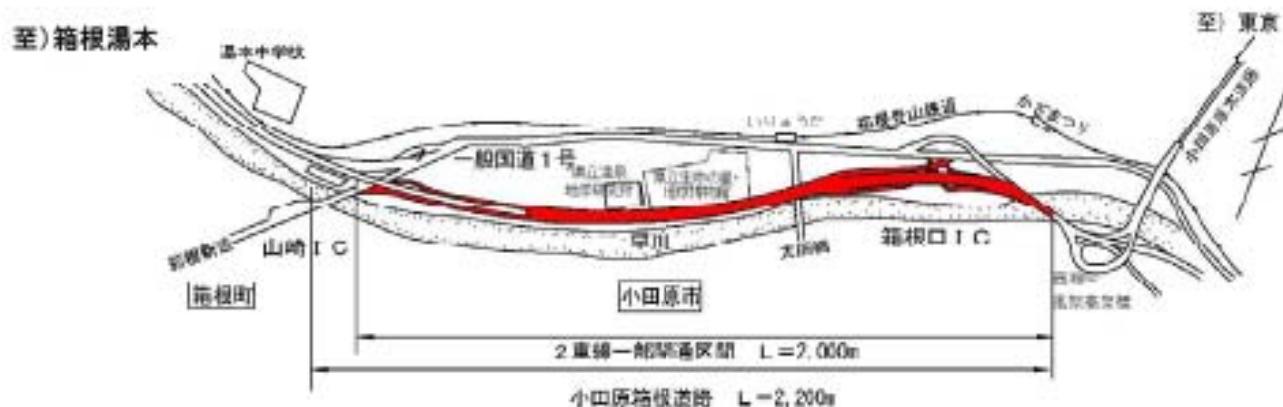
構造規格：一般国道（第3種第2級、設計速度60km/h）



【位置図】



【暫定開通時の状況】





# 一般国道246号 あつぎはだのどうろ 厚木秦野道路

## 1. 概要

厚木秦野道路は、一般国道246号バイパスとして現道の交通混雑の解消を図るとともに、第一東海自動車道（東名高速道路）、第二東海自動車道、さがみ縦貫道路を相互に連絡し、県央・湘南地域の広域的ネットワークを形成し、且つ、沿線の関連開発計画の支援、沿線都市の健全な発展等に寄与する道路です。

平成19年度は、伊勢原地区では調査設計及び用地買収を推進するとともに、厚木地区においては、調査設計及び工事を推進します。

## 2. 計画内容

所在地：①厚木地区 かながわけんあつぎしなかえち いいやま 神奈川県厚木市中依知～同市飯山  
 （さがみ縦貫〔(仮称)圏央厚木IC・JCT〕～  
 一般国道412号BP〔(仮称)厚木北IC〕）  
 ②伊勢原地区 かながわけんいせはらしにしとみ300か せんば 神奈川県伊勢原市西富岡～同市善波  
 県道相模原大磯線～一般国道246号〔(仮称)伊勢原西IC〕

延長：①3.6km

②4.8km

構造規格：自動車専用道路（第1種3級、設計速度80km/h）

